

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2 年	学科	食料環境科	必選	選択:環境系
教科	農業	科目	森林科学	単位	2 単位
使用教材	「森林科学」(実教出版)				
学習目標	①森林科学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ②森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	第1章 「森林科学」とプロジェクト学習 第2章 森林と樹木 ・森林の定義と分類 ・樹木の特性 ・森林の立地環境		・地域森林の特性やタイプを学ぶ。		
			・森林の維持管理や機能について課題を理解する。		
			・学校林散策と整備の実習。		
2 学期	第3章 森林生態系の構造と多面的機能 ・森林生態系の構造 ・森林植生遷移と森林の発達段階 第4章 森林の機能と目標林型 ・生態系サービスと森林の機能の発揮		・森林生態系の特徴と、多面的機能を理解する。		
			・持続可能な森林管理や、制度について学ぶ。		
			・学校林整備実習、チェーンソー講習。		
3 学期	第5章 森林の施業技術や管理技術 ・生産林の施業技術 ・森林の健全性を維持するための管理技術 第6章 木材の収穫 ・作業システム ・労働安全 第7章 森林の育成と活用の実践		・持続可能な森林管理に必要な技術や管理について知る。		
			・生態系に大きな負荷をかけず、安全に収穫する重要性を理解する。		
			・森林の育成方法と実践事例を知る。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	森林科学科学について体系的・系統的に理解し、関連する技術が身に付いている。			
II	思考・判断・表現	森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力が身に付いている。			
III	主体的に学習に取り組む態度	森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が身に付いている。			
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数
	定期テスト 実習 (道具の使い方、作業の仕上り)		定期テスト 提出物 実習(道具の使い方、作業の仕上り)		授業の取組 (態度、出席状況、協働性) 定期テストの復習
					70 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			